

研究と企業が 出会うとき、 未来が動き出す。

産学連携で拓く
新たなイノベーション

支 援 セ ミ ナ ー

2026

2.19

15:00-17:00

[Thu]

長浜バイオ大学

研究シーズ×地域企業

会 場

長浜商工会議所 2F (第2・3会議室)
滋賀県長浜市高田町12-34

定 員

40名

大学の研究シーズと地域企業の技術をつなぎ、
新たな産業や事業の可能性を探るシーズ発表会を開催します。
バイオロボティクス研究を中心に、
現場につながる「ものづくりの考え方」をわかりやすく紹介します。

『AIして、操作して、見える化して、ものづくりする。』

講 演 内 容 | 生き物の動きを観察し、計測し、見える化し、形にする。
AIを「人の代わり」ではなく「人の工夫を支える道具」として活用
する、多分野に应用可能なものづくりのヒントをお伝えします。

講 師 | 長浜バイオ大学
バイオデータサイエンス学科 教授 清水 正宏 氏

定 員 | 40名

参 加
無 料

大学の研究シーズを、
自社ビジネスにどう活かせるか
考えるきっかけに!!

主 催 BI 機能強化コンソーシアム

一般社団法人バイオビジネス創出研究会 / 長浜バイオ大学研究推進機構
一般社団法人長浜ビジネスサポート協議会 / たけごし司法書士事務所

後 援

長浜市 / 長浜バイオ大学

講演概要

『AIして、操作して、見える化して、ものづくりする。』

本講演では、生体と機械を融合するサイボーグシステム開発の研究を通して培ってきた「観察し、操作し、見える化し、形にする。」というものづくりの考え方を紹介します。生き物の動きや仕組みを丁寧に観察し、センサやカメラで計測し、得られた情報を整理して分かりやすく可視化することで、試作や改良を繰り返しながらロボットや仕組みを生み出してきました。AIはその過程を支える道具の一つであり、判断や作業を置き換えるものではなく、人の工夫や経験を次につなげる役割を担います。本講演では、自然から学んだ発想と工学技術を組み合わせることで、製造業に限らず、サービス業、農業、医療、福祉など多様な業種の現場でも応用可能な身近なものづくりのヒントを具体例とともにお伝えします。さらに、ChatGPTを例に挙げてAIに相談するコツもお伝えできればと思います。

講師

長浜バイオ大学
バイオデータサイエンス学科
教授 清水 正宏 氏



参加申込書

右記申込フォーム(QR) または FAX(下記に記入)・メールにて お申込みください。

お申込み締切

2026年 2月13日(金)

mail contact@biobiz.jp

FAX 0749-65-8858

WEB

右記の申込フォームQRコード
からもお申込みいただけます。▶



■ お問い合わせ バイオビジネス創出研究会 TEL:0749-65-8808

企業・団体名	企業・団体名			
	住所	〒 -		
	TEL		FAX	
参加者 1	氏名	ふりがな	所属部署・役職名	
	E-mail			
参加者 2	氏名	ふりがな	所属部署・役職名	
	E-mail			

■ 関心のある分野 (任意・複数選択可)

☐ ものづくり・製造業

☐ 医療機器・ヘルスケア

☐ 環境・エネルギー

☐ AI・ロボット技術

☐ サービス業・農業・福祉

☐ その他(具体的に:)

■ 質問・ご要望など

--

主催 BI 機能強化コンソーシアム (一般社団法人バイオビジネス創出研究会/長浜バイオ大学研究推進機構/一般社団法人長浜ビジネスサポート協議会/たけごし司法書士事務所)

後援 長浜市/長浜バイオ大学